

ホンダ7戦全勝で第1ステージを終了

~ 第28回日本ハンドボールリーグ第4週 ~

第28回日本ハンドボールリーグは11月15、16日に第4週・男子のみ4試合が東京で行われ、V6を狙うホンダが湧永製薬との全勝対決を制して開幕7連勝で第1ステージを終えた。

いずれも相星対決で実力伯仲のクロスゲームになった4試合のうち、注目のホンダ・湧永製薬戦は、開始早々クリエンコのカットインで先制したホンダに対し、湧永製薬も東のヨドリですかさず同点とし、その後も首位攻防にふさわしい白熱戦が繰り広げられた。

「打倒・ホンダ」に燃える湧永製薬は、加川のサイド、山口のポスト、東のヨドリで17分過ぎから得点の止まったホンダに11-8と3点リードをつけて主導権を奪取。しかし、このあと湧永製薬も得点ペースが鈍り、佐々木、谷口の連打などでホンダが28分同点に追いつき、結局、前半終了間際に古家のシュートが決まった湧永製薬が12-11でUターンした。

後半に入りホンダは、6分までにディフェンスからの速攻で逆転すると、さらに池辺のポスト、広政のサイドなどで11分17-14と湧永製薬を突き放しにかかる。湧永製薬は10分過ぎからホンダディフェンスを攻めあぐみ10分間無得点。ようやく17分に小沢の7mTで得点を返し、その後も古家の奮戦などで、26分19-21と2点差まで迫ったが、最後はホンダがスピーディな展開から広政が2本のサイドシュートを決め、湧永製薬の息の根を止めた。

3位争いが注目された大同特殊鋼・大崎電気戦は、立ち上がり大同特殊鋼が金性憲のステップシュート、朴性立のヨドリ、7mTで得点すると、大崎電気も豊田、中川で応戦し、10分3-3と互角の展開で滑り出した。その後は両チームとも流れをつかめず、ロースコアのまま11-11の同点で前半を終了。後半に入ると退場者を続出させた大崎ディフェンスの乱れをついた大同特殊鋼が金、松林の連打で14-12と2点リード、その後も朴を中心



快進撃のホンダゴールを支える吉井

に得点を重ね、24分23-18とほぼ試合を決定づけた。結局、試合は大同特殊鋼が25-20で快勝、大崎電気は前後半合わせて退場者を9人出したのが響き、終始リズムに乗れないままタイムアップの笛を聞いた。

2勝4敗同士で迎えたホンダ熊本・トヨタ車体戦は、竹下のサイド、野村のヨドリなどで先行したトヨタ車体が13-12で前半終了、後半に入ても1点を争うシーソーゲームが続いた。しかし、15分19-18とホンダ熊本1点リードの場面から、ケジノフのロングが炸裂したホンダ熊本は25分26-21と一緒にリードを広げると、そのまま優位をキープして勝利をつかんだ。試合途中からポストに入り、ブロックプレーでケジノフの強打を引き出したウォルの巧技も光った。

未だ勝利のないHC東京とアラコ九州の一戦は、前半12-12で迎えた後半、布田のサイドで先行したHC東京がポスト木村の3連取などで10分17-13、その後もGK宇田川竜の好守もあって優位を守り、20分には24-18とリーグ初勝利へ快調に突っ走った。しかし、アラコ九州も終盤猛反撃に転じ、残り1分から吳相民のゴールで26-26と同点。HC東京は残り10秒、五島のヨドリで勝ち越したが、すぐに逆襲したアラコ九州が村上のサイドからノータイム7mTを奪い、この一投を吳が慎重に沈めて熱戦は引き分けに終わった。

これで第1ステージは ホンダ 湧永製薬 大同特殊鋼 大崎電気 ホンダ熊本 トヨタ車体 アラコ九州 HC東京(- は総得失点差による)の順で折り返した。

次週は男子4試合、女子3試合が行われ、このうちウォル・ケジノフのコンビが確立して3連勝中のホンダ熊本が大同特殊鋼にチャレンジする一戦が見もの、大崎電気・トヨタ車体も1点を争う好ゲームとなりそうだ。1週間のブレイクがあった女子は上昇ムードのソニーセミコンダクタ九州が女王・広島メイプルレッズにいかに挑むか。シャトレーゼ相手に巻き返しを狙う北国銀行の戦いぶりにも注目したい。

第5週の日程

[1 部]

11月22日(土)埼玉・八潮市立鶴ヶ曽根体育館(東武伊勢崎線草加駅バス15分)	14:00~(男)大崎電気×トヨタ車体
愛知・枇杷島スポーツセンター(名鉄名古屋本線東枇杷島駅徒歩7分)	13:00~(男)大同特殊鋼×ホンダ熊本
三重・鈴鹿市体育館(近鉄線白子駅徒歩20分)	14:00~(男)ホンダ×H C 東京
京都・京都市体育館(阪急京都線西京極駅徒歩5分)	15:00~(女)オムロン×H C 名古屋
広島・東区スポーツセンター(アストラムライン線牛田駅徒歩2分)	14:00~(女)メイプルレッズ×ソニー
高知・高知県民体育館(JR土讃線高知駅バス10分)	13:00~(男)湧永製薬×アラコ九州
11月23日(日)石川・小松総合体育館(JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~(女)北国銀行×シャトレーゼ

[2 部]

11月22日(土)福井・北陸電力福井体育馆フレア 14:00~北陸電力×トヨタ自動車 愛知・豊田合成(株)健康管理センター 14:00~豊田合成×大阪ガス

11月15日(土) 男子1部 東京・駒沢体育館	11月15日(土) 男子1部 東京・駒沢体育館	11月16日(日) 男子1部 東京・駒沢体育館	11月16日(日) 男子1部 東京・駒沢体育館
ホンダ熊本 27 (12 - 13) 24 トヨタ車体 3勝0分4敗	アラコ九州 27 (12 - 12) 27 H C 東京 0勝1分6敗	大同特殊鋼 25 (11 - 11) 20 大崎電気 5勝0分2敗	ホンダ 23 (11 - 12) 20 湘永製薬 7勝0分0敗
1/ 2 大 宮 森 K <0/1> 0/ 0 田 中 田中秀 1/ 1 0/ 0 柳 田 宮 地 0/ 0 5/ 7 上 角 谷 1/ 5 1/ 1 本 多 野 谷 2/12 2/2 0/ 0 作 田 近 藤 0/ 0 2/ 2 佐 伯 竹 下 5/ 9 1/1 K 松 岡 北 出 1/ 6 1/ 3 若 松 清 水 1/ 1 1/ 4 松 本 長 谷 川 3/ 3 3/ 3 宮 城 加 藤 3/ 4 1/1 <0/4> K 吉 田 林 田 K <0/1> 8/19 クリワク 崎 前 0/ 0 2/2 3/ 7 ヴォル 崎 前 0/ 0	<0/1> K 田中利 伊 藤 2/ 6 0/ 0 材 木 泉 1/ 2 西村英 0/ 0 2/ 4 村 上 字田川竜 K <0/1> 4/ 5 8 吳相民 布 田 2/ 5 4/ 8 朴正鎮 木 村 7/ 7 須 藤 3/ 7 3/11 田中慎 宇田川敏 K <1/4> 2/ 4 阪 五 島 4/11 2/ 6 元 島 古 川 0/ 0 佐 藤 0/ 0 0/ 0 錦 戸 飯 野 1/ 2 0/ 0 松 野 飯 島 3/ 5 4/6 <2/2> K 谷 川 佐 森 本 1/ 1 3/3 堤 0/ 0	<0/2> K 萩 田 原 田 K <0/1> 2/ 5 松 林 豊 田 2/ 3 0/ 0 南 川 加 藤 1/ 3 0/ 0 富 本 前 田 0/ 0 1/ 1 畠 村 中 谷 佐 藤 6/11 0/ 1 市 原 永 島 1/ 2 1/ 1 藤 井 岩 本 2/ 4 0/ 0 笹 西 森 本 1/ 1 3/3 0/ 0 渡 邊 太 田 0/ 0 <0/1> K 高 木 濱 口 K 4/ 5 山 本 東 1/ 2 1/1 6/12 朴性立 近 藤 1/ 1 10/11 金性憲 辻 2/ 6	K 四 方 東 2/ 7 5/ 7 池 辺 浜 本 0/ 0 1/ 3 羽 賀 福 田 4/10 2/ 4 佐々木 中 山 0/ 0 3/ 7 茅 場 小 数 0/ 0 2/ 5 斎 藤 加 川 3/ 6 0/ 0 加 藤 坪 根 K 4/ 4 広 政 小 沢 3/ 9 1/2 4/ 8 谷 口 杉 山 0/ 0 0/ 0 野 嶋 松 村 K 0/ 0 阿 部 古 家 5/12 <1/2> K 吉 井 渡 辺 0/ 0 0/ 0 中 谷 山 口 2/ 2 2/ 5 クリエイコ
2/2 25/48 9(FPP)11 20/49 4/4 審判(仲田・植村) 観客 304人	4/5 23/47 11(FPP)7 23/45 4/6 審判(江原・永春) 観客 356人	1/1 24/37 11(FPP)21 17/33 3/3 審判(仲田・植村) 観客 1067人	0/0 23/43 7(FPP)2 19/46 1/2 審判(浜田・小笠原) 観客 1575人
北陸電力が好調キープ 2部男子は、豊田合成から大量41点を奪って圧勝した北陸電力が、開幕から3連勝。神田、杉山らを軸に、オフェンス、ディフェンスともに充実感にあふれ、出場4チームの中で大きく抜け出た力を披露している。 その北陸電力を追いかけるトヨタ自動車も、第1戦で敗れた大阪ガスに雪辱して2勝1敗。厚沢、田中らを中心に、調子を取り戻してきた。 この両者が第5週(11月22日)に、北陸電力のホームコートで激突。まだまだ前半戦とはいえ、今後の順位争いを占う重要な一戦となりそうだ。	11月15日(土) 男子2部 兵庫・大阪ガス今津総合グランド体育館 北陸電力 41 (21 - 8) 14 豊田合成 3勝0分0敗	11月15日(土) 男子2部 兵庫・大阪ガス今津総合グランド体育館 トヨタ 自動車 27 (14 - 10) 21 大阪ガス 2勝0分1敗	追加選手・役員登録 1部女子 シャトレレーゼ 役員 トレーナー 皆川 直哉 11月20日から出場可能 登録抹消 マネージャー 山崎 理恵
	K 西 田 梅 村 K 5/ 6 高 橋 面 家 0/ 2 5/ 5 神 田 川 島 4/ 6 6/ 8 桜 井 門 野 0/ 0 4/ 6 高 田 隅 田 0/ 0 6/13 杉 山 中 山 0/ 0 4/ 4 北 村 名 倉 K 4/ 4 高 岡 佐 藤 6/13 4/ 5 表 半 田 1/ 1 K 安 藤 山 田 3/ 9 3/ 7 佐久間 K 有 江	トヨタ 自動車 27 (13 - 11) 21 大阪ガス 1勝0分2敗	<0/2> K 山 本 嶋 崎 K <0/1> 2/ 3 三 上 奥 野 0/ 0 2/ 6 光 田 三 羽 2/ 9 1/1 3/5 4/ 8 厚 沢 三 川 1/ 3 1/ 2 甲斐田 大 庭 0/ 0 0/ 0 大 塚 鳥 平 3/ 5 2/ 2 金 子 浜 田 5/ 8 8/ 9 田 中 八 嘴 4/ 8 2/2 2/ 2 真 崎 向 井 2/ 3 2/ 4 倉 田 鶴 島 1/ 1 <0/1> K 佐 藤 福 田 K <2/4> 1/ 5 吉 永 0/ 0 澤 永 田
	0/0 41/58 9(FPP)5 14/31 0/0 審判(浅井・岸本) 観客 62人	0/0 41/58 9(FPP)5 14/31 0/0 審判(奥田・森) 観客 71人	

日本女子の世界選手権出場が決定！

第16回世界女子選手権(12月2~14日、クロアチア)にアジア第1代表のカザフスタンが出場を辞退したことから日本女子の繰り上げ出場が決まりました。

11月11日に国際ハンドボール連盟(IHF)から日本の代替出場を連絡してきたもので、急きょ日本ハンドボール協会は大会への参加を決め、代表チームの編成にあたるとともに期間中に日程が組み入れられている第28回日本ハンドボーリーグの対応を協議することになりました。

これを受けて日本ハンドボーリーグ機構は17日に緊急委員会を招集、大会日程に直接影響のある女子試合についての基本的対応を以下の通り決めました。

1. 日本リーグの試合は当時のスケジュール通り実施する。
2. 世界選手権に絡んだ試合はリーグ戦績には含めず、後日公式戦を再度実施する。

以上ですが、個々の試合の具体的対応については決定次第告知します。

日本ハンドボーリーグ機構

男女1部個人賞レース 第4週終了

《男子》 《女子》

得点王

1 吴 相 民 (アラコ九州)	61 点	(7試合)	1 郭 惠 静 (ソニー)	47 点	(5試合)
2 朴 性 立 (大同特殊鋼)	48 点	(7試合)	2 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	45 点	(5試合)
3 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	42 点	(6試合)	3 吳 成 玉 (メイプルレッズ)	43 点	(5試合)
3 ク ジ ノ フ (ホンダ熊本)	42 点	(7試合)	4 田 中 美 音 子 (ソニー)	33 点	(5試合)
5 金 性 憲 (大同特殊鋼)	41 点	(7試合)	5 金 城 晶 子 (オムロン)	29 点	(5試合)
6 野 村 広 明 (トヨタ車体)	36 点	(7試合)	6 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	27 点	(5試合)
7 中 川 善 雄 (大崎電気)	35 点	(7試合)	6 上 町 史 織 (北国銀行)	27 点	(5試合)
8 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	34 点	(7試合)	8 佐 藤 由 紀 恵 (H C 名古屋)	21 点	(5試合)
9 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	29 点	(7試合)	9 中 村 尚 美 (北国銀行)	20 点	(5試合)
10 朴 正 鎮 (アラコ九州)	28 点	(7試合)	10 原 田 恵 (シャトレーゼ)	19 点	(5試合)
10 古 家 雅 之 (湧永製薬)	28 点	(7試合)	11 劉 晋 淑 (オムロン)	18 点	(5試合)
10 北 出 圭 祐 (トヨタ車体)	28 点	(7試合)	12 水 野 由 加 里 (H C 名古屋)	17 点	(5試合)
13 福 田 大 樹 (湧永製薬)	27 点	(7試合)	12 山 田 早 織 (ソニー)	17 点	(5試合)
14 山 本 琢 央 (大同特殊鋼)	26 点	(7試合)	12 菅 谷 美 奈 (H C 名古屋)	17 点	(5試合)
14 下 川 真 良 (湧永製薬)	26 点	(6試合)	15 大 前 典 子 (メイプルレッズ)	16 点	(5試合)
			15 河 本 千 寿 子 (メイプルレッズ)	16 点	(5試合)
			15 富 田 有 美 (オムロン)	16 点	(5試合)

フィールド得点賞

1 金 性 憲 (大同特殊鋼)	41 点	(7試合)	1 吴 成 玉 (メイプルレッズ)	41 点	(5試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州)	40 点	(7試合)	2 郭 惠 静 (ソニー)	38 点	(5試合)
3 朴 性 立 (大同特殊鋼)	39 点	(7試合)	3 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	32 点	(5試合)
3 ク ジ ノ フ (ホンダ熊本)	39 点	(7試合)	4 田 中 美 音 子 (ソニー)	30 点	(5試合)
5 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	35 点	(6試合)	5 金 城 晶 子 (オムロン)	29 点	(5試合)
5 中 川 善 雄 (大崎電気)	35 点	(7試合)	6 稲 吉 希 穂 (シャトレーゼ)	27 点	(5試合)
7 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	29 点	(7試合)	7 原 田 恵 (シャトレーゼ)	19 点	(5試合)
8 朴 正 鎮 (アラコ九州)	28 点	(7試合)	7 上 町 史 織 (北国銀行)	19 点	(5試合)
8 古 家 雅 之 (湧永製薬)	28 点	(7試合)	9 劉 晋 淑 (オムロン)	18 点	(5試合)
8 北 出 圭 祐 (トヨタ車体)	28 点	(7試合)	10 水 野 由 加 里 (H C 名古屋)	17 点	(5試合)
			10 山 田 早 織 (ソニー)	17 点	(5試合)
			10 中 村 尚 美 (北国銀行)	17 点	(5試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	29点 / 40射 0.725	1 田 中 美 音 子 (ソニー)	30点 / 45射 0.667
2 朴 正 鎮 (アラコ九州)	28点 / 44射 0.636	2 水 野 由 加 里 (H C 名古屋)	17点 / 26射 0.654
3 金 性 憲 (大同特殊鋼)	41点 / 69射 0.594	3 郭 惠 静 (ソニー)	38点 / 60射 0.633
4 古 家 雅 之 (湧永製薬)	28点 / 48射 0.583	4 吳 成 玉 (メイプルレッズ)	41点 / 69射 0.594
5 ヴ オ ル (ホンダ熊本)	35点 / 63射 0.556	5 山 田 早 織 (ソニー)	17点 / 29射 0.586

7mスロー得点賞

1 吴 相 民 (アラコ九州)	21 点	(7試合)	1 早 船 愛 子 (シャトレーゼ)	13 点	(5試合)
2 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	14 点	(7試合)	2 木 村 妙 子 (メイプルレッズ)	11 点	(5試合)
3 森 本 彰 宏 (大崎電気)	12 点	(6試合)	3 郭 惠 静 (ソニー)	9 点	(5試合)
4 クリーチェンコ (ホンダ)	10 点	(7試合)	4 富 田 有 美 (オムロン)	8 点	(5試合)
4 野 村 広 明 (トヨタ車体)	10 点	(7試合)	4 上 町 史 織 (北国銀行)	8 点	(5試合)

7mスロー阻止賞

1 吉 井 丈 晴 (ホンダ)	5本 / 10射 0.500	1 浅 井 友 可 里 (メイプルレッズ)	3本 / 6射 0.500
2 谷 川 一 寿 (アラコ九州)	6本 / 13射 0.462	2 細 谷 若 菜 (シャトレーゼ)	3本 / 7射 0.429
2 原 田 仁 (大崎電気)	2本 / 7射 0.286	3 高 森 妙 子 (メイプルレッズ)	5本 / 13射 0.385
4 宇 田 川 竜 也 (H C 東京)	3本 / 11射 0.273	4 田 中 麻 美 (北国銀行)	5本 / 23射 0.217
4 林 田 庄 司 (トヨタ車体)	3本 / 11射 0.273	5 勝 田 祥 子 (オムロン)	3本 / 14射 0.214

今リーグから7mスローの阻止率で順位づけします(7mスローを受けた数がチーム試合数以上の選手を対象)。

第28回日本ハンドボールリーグ成績表 第4週終了 11月16日現在

順位	1部男子	ホンダ	湧永製薬	大同特殊鋼	大崎電気	ホンダ熊本	トヨタ車体	アラコ九州	H C 東京	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	ホンダ	23	21	26	30	26	33	28	7	7	0	0	14	187	125	62	
2	湧永製薬	20	28	28	29	26	34	35	7	6	0	1	12	200	153	47	
3	大同特殊鋼	18	22	25	30	25	27	26	7	5	0	2	10	173	153	20	
4	大崎電気	15	24	20	25	22	22	29	7	4	0	3	8	157	156	1	
5	ホンダ熊本	18	24	22	21	27	27	29	7	3	0	4	6	168	184	-16	
6	トヨタ車体	19	21	23	20	24	25	29	7	2	0	5	4	161	164	-3	
7	アラコ九州	22	24	25	20	26	23	27	7	0	1	6	1	167	195	-28	
8	H C 東京	13	15	14	16	20	15	27	7	0	1	6	1	120	203	-83	

順位	1部女子	メイブルレッズ	シャトレーゼ	オムロン	ソニー	北国銀行	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイブルレッズ	24	26	32	27	39	5	5	0	0	10	148	112	36	
2	シャトレーゼ	23	34	28	29	24	5	3	1	1	7	138	108	30	
3	オムロン	20	19	27	22	36	5	3	0	2	6	124	127	-3	
4	ソニーセミコンダクタ九州	30	28	26	27	29	5	2	1	2	5	140	121	19	
5	北国銀行	15	19	17	18	22	5	1	0	4	2	91	123	-32	
6	H C 名古屋	24	18	24	16	18	5	0	0	5	0	100	150	-50	

順位	2部男子	北陸電力	トヨタ自動車	大阪ガス	豊田合成	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北陸電力			35	34 41	3	3	0	0	6	110	45	65
2	トヨタ自動車			17 27	28	3	2	0	1	4	72	67	5
3	大阪ガス	15	20 21			3	1	0	2	2	56	79	-23
4	豊田合成	16 14	26			3	0	0	3	0	56	103	-47

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。